

南アフリカ 防雹ネットで見守る果樹園

FreshPlaza 2023年4月7日

「すべての果樹園は防雹ネットの下にあり、何年もの間に経験した雹を伴うすべての嵐が我々に貴重な教訓を残してくれた。」

悪天候は世界中の生産者にとって最大の頭痛の種の一つであり、雹を伴う嵐はほんの数分で生産者の作物を破壊する可能性があるため、作物を保護するために防雹ネットに投資する生産者が増えている。

南アフリカの果樹農業コンサルタントであるハンス・メイリング氏は、今シーズンのセレス地域とラングクルーフ地域での大きな降雹被害は、もっと多くの果樹園が防雹ネットで保護されていれば防げたかもしれないと述べた。(以下「」は同氏の発言)

「過去25年間、私は国の北部のフリーステート州とムプマランガ州でリンゴ栽培に関わり、リンポポ州では低温要求量の少ない新しいリンゴ品種の生産に取り組んできた。すべての果樹園は防雹ネットの下にあり、何年もの間に経験した雹を伴うすべての嵐が我々に貴重な教訓を残してくれた。それによって、ネット業界に不慣れな生産者にとって大きな価値があるかも知れない革新的な解決策がいくつか生まれた。5年前、フリーステート州でよく見られるネットシステムがクーバレー地域のピエール・バーガー氏の農場に設置された。ネットが彼の果樹と果実の品質に大きな影響を与えることは、初日からわかった。今年の結果はさらに素晴らしかったので、彼は晩生のアンズの一部もネットで被覆することにした。」



メイリング氏によると、南アフリカでは果樹園をネットで覆う大きな動きがあったものの、それは大きな投資であり、特にすべてのコストが増加し、市場が不安定なこのような時期には負担となる。

「生産者はそれをするべきだとわかっているが、それは金がかかるものだ。深刻な降雹被害を一度防げれば投資コストを回収でき、作物を守る以外にも多くの利点がある。南アフリカの天候は過酷で、果実は日焼けすることがあるが、これはネットを使用することで回避できる。また、保護された生態系を作り出し、灌漑に使用される水を約30%節約し、風から守ってくれる。」

メイリング氏は30年間防雹ネットに取り組んでおり、あらゆる種類のネットが使用され、さまざまな結果が得られるのを見てきた。

15年ほど前、生産者らが集まって結果を交換し、さまざまなシステムについて検討したところ、非常に効果的なものもあれば、それほど効果的でないものもあった。ネットの品質には大きな違いがあり、編み込みネットが最も効果的で長持ちすることがわった。生産者は多額の投資をする場合、ネットを数年かそれ以上長持ちさせたいと考えるが、編み込みネットを使用すると、約10年、場合によってはそれよりはるかに長く効果があることがわかった。」

南アフリカでは良いネットを見つけるのは難しいかもしれない。編み込みネットを生産する工場は1つだけあるが、その製造能力は限られている。十分な数のネットを得るために、メイリング氏は低価格で品質の良いものを生産できる中国の工場と協力しており、そこでは南アフリカの過酷な条件に耐えることができるよう南アフリカ向けに特化した仕様で製造が行なわれている。

執筆者: ニコラ・マクレガー



新しいネットシステムの下のカレンゴールド(バーガースフォート地区)



ネットから降ろされた霜。作物は保護された。(フライデンバーグ地区ゲードフープ農場)

※ この翻訳は技術や産地の状況を紹介するためのものであり、特定の企業や製品を推奨するものではありません。